

< 研究成果の紹介 >

ヒヨドリによるカンキツ食害の実態

農業研究部紀南果樹研究室

1. 成果の内容

カンキツ類を食害するヒヨドリは例年10月下旬に東紀州地域に渡ってきます。ヒヨドリの食料としてはカンキツ類以外に樹の実があります。そこで、研究室周辺の樹とヒヨドリとの関係を調査しました。また、鳥害はカンキツの品種によって被害程度も様々なので、ヒヨドリの味覚の好みを調べました。

室内試験に用いたヒヨドリは、研究室敷地内に設置したかすみ網で捕獲し（近畿自然保護事務所にて捕獲許可済み）、網室でミカンの果実を与えて飼育しました。

1) 紀南果樹研究室周辺の山林に自生する樹を調査したところ、多種の樹が実をつけることが確認できました(表)。

2) 樹の実ほとんどが11月中旬に落果し、減少します。それとは逆にヒヨドリの果樹園への飛来数は増加します(図1)。また、室内試験でヒヨドリに樹の実を与えたところ、ヒサカキとカクレミノがよく食べられました。

3) ヒヨドリのカンキツ類に対する好みを調べるために、ほ場で被害の多かった「青島温州」、「太田ポンカン」、「鈴木ネーブル」と被害の少なかった「清見」、「宮内伊予柑」の5品種を飼育中のヒヨドリに

与えたところ、「青島温州」を特に好みました(図3)。また、果皮の影響を除くために、半分に切った「宮内伊予柑」を与えた場合、「青島温州」と同程度食することから、果皮も食害に影響があることがわかりました。

2. 技術の適用効果と適用範囲

カンキツ園周辺の樹の実の付き方や減り方で、その年のヒヨドリによる被害予想ができそうです。また、鳥害を受けにくいカンキツの品種や特徴がわかりましたので、鳥害が多い地域での品種選定に利用できます。

3. 普及・利用上の問題点

実をつける樹種は多種にわたりますが、樹の実の全体量には年により差があるようです。(竹内雅己)

表 紀南果樹研究室周辺の実をつける樹種

樹種名	実の色	実の形
アオツヅラフジ	青黒色	球形
アカメガンショ	青黒色	球形
イヌザンショウ	紫紅色	球形
カクレミノ	黒色	広楕円球形
クサギ	青黒色	やや球形
クスノキspp.	緑色	やや球形
クロガネモチ	赤色	楕円球形
ゴンズイ	赤色	半月円形
サイゴクミツバツツジ	暗緑色	円柱形
サルトリイバラ	赤色	球形
センリョウ	赤色	球形
タイムンタチバナ	緑色	やや球形
ノイバラ	赤色	球形
ハゼノキ	黄白色	扁円形
ヒサカキ	黒色	球形
マサキ	赤色	球形
ムラサキシキブ	紫色	球形

注) 原色日本樹木図鑑(保育社)、樹木(西東社)を参考

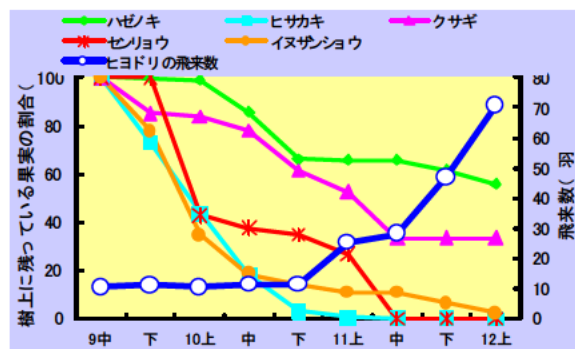


図1 樹の実とヒヨドリのカンキツ園への飛来数の推移

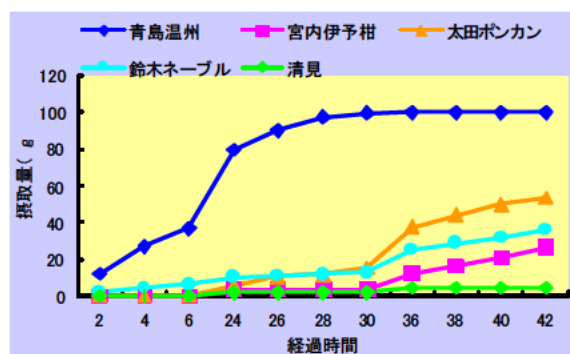


図2 ヒヨドリの各種カンキツ類(丸果実)の摂取量

発行：三重県科学技術振興センター農業研究部・畜産研究部 (農業研究部)

〒515-2316 三重県一志郡嬉野町川北530

TEL0598-42-6357 FAX0598-42-1644

ホームページアドレス

<http://www.mate.pref.mie.id/marc/>

(畜産研究部)

〒515-2316 三重県一志郡嬉野町須賀1444-1

TEL0598-42-2027 FAX0598-42-2043

ホームページアドレス

<http://www.mate.pref.mie.jp/marc/chikusan/default.htm>

<訂正>

2001年7月1日発行 No. 53 の<お知らせ①>に機構改革の時期が平成12年4月とありますが、平成13年4月の間違いです。お詫びして訂正させていただきます。